

中日友好新聞

日中

おみやげ

題字 藤原田 親

No. 1059

2024/12/1

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒111-0952
東京都台東区浅草橋5-1-3
3F 3F 5F 5F
電話 03(5839)2149(FU)
FAX 03(5839)2141
http://www.jcf-jnaa.net
E-mail: jcf@jcf-jnaa.net
社址 03(119)-1-21176

日中友好協会
岡山支部
〒705-0034
岡山市北区下伊福
西町1-59 民主会館1F
TEL: FAX 0861-256-8806

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8031
倉敷市福河町東32461-41
TEL: FAX 0861-411-7806

竹内和夫先生 お別れのひととき

真田紀子

11月15日の土曜日の17時より、竹内先生のマンションで標記の会が持たれました。当日は竹内先生のお骨が岡大から帰ってくるため、末弟の重男さんが東京から受け取りに来られていました。同日に岡大医学部で合同慰霊祭が行われ、参列されたそうです。

4月に行われた「竹内和夫先生を偲ぶ会」に参加できなかった方々と連絡がつき、この機会にご参加いただくことになりました。

会場の設営や呼びかけは、近藤幸夫弁護士が行ってくださいました。

日中からは私が参加しました。国民救援会からは竹原さんと仲田さんが参加され、他に共産党の岡山県議会議員の氏平さんは4月にも参加されていましたが、その他の方は今回初めて参加された方々です。

岡大で竹内先生の教えを受け、その後岡大で竹内先生の後を受けて言語学の教授になられた栗林裕先生が出席されていました。

また、4月の会には参加されていなかった小畑隆資先生(岡山大学名誉教授)、山崎博幸弁護士(岡山弁護士会九条の回代表)なども参加され、竹内先生の思い出を語られました。

4月の会では語られなかった、竹内先生の岡大での教師としてのあり方や、労働組合での活動など今まで知られていなかった新しい面を教えてくださいました。

近藤幸夫弁護士の奥様が、マンションの掃除や花や軽食をご用意してください、気持ちよく2時間を過ごすことができました。

ありがとうございました。



備前長船刀剣博物館

を訪ねて

11月9日、雨というあいにくの天気の中、備前長船刀剣博物館を訪れました。

参加者は真田さんをはじめとして7人でした。

備前長船刀剣博物館の名前は聞いたことがあり、2号線を通るときに看板等も見ることがあるので、実際にいったのは今回が初めてでした。

正直、長船というお世辞にも便利ではない場所だし、刀剣乱舞ではちよつと話題になったことがあるけどという認識しかありません。

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhongyouhao.jinaa.net/>
メールアドレス
nicchukayama@yahoo.co.jp



した。なので、きっと人がすごく少なくてもしかして貸し切り?とかいう失礼な想像をしてました。しかし、実際に言ってみると、観光バスが止まっていたりして、「えっ?」

しかも運が良いことに、特別展「刀剣は人を救う〜ふなっしーの刀剣展〜」が開催されていました。ふなっしーと刀剣???と頭の中で?マークを飛ばしつつ中に入っていきました。

この博物館は、国宝「太刀 無銘 一文字(山鳥毛)」でも有名なのですが、こちらは展示されていませんでした。

(後で聞いたところ、国宝であるため、公開日数に制限があるとのことでした)

展示に入っていくと、最初にふなっしーがネットオークションで購入した刀が目に入りました。「村正」だと思っただけで、実は「岩捲(がんまく)」だったというオチだったようです。そこから、どんどん刀剣の世界にはまって、今や一〇〇振り以上コレクションしているとの

※裏へ続く



ことで、好きの力の凄さを感じました。

刀剣をみていると、不思議な魅力があります。

形もそれぞれ個性があるし、刃文の種類も多くて、デザインのにも惹かれます。

じつと見つめていると引き込まれそうな感覚もあります。妖刀「×××」って言い方がありますが、それってわかるような気がします。

もともとは、武器という人を殺傷する道具ではあつたけど、時代が進むにつれて武器としての役割だけでなく、いろいろな形で受け継がれるものとして

進化していったところがすごいと思います、

そして、伝統工芸として、現在も技術が受け継がれている姿をみて、これからも未来永劫続いてほしいと思います。

そして、ゆるキャラとしてのふなっしーしか知らなかった私にとつて、ふなっしーの別の顔を知ることができたのがとても興味深かったです。一〇〇振り以上の、刀剣を管理維持するのは大変だと思いましたが、ふなっしーの知名度を武器に刀剣に興味を持つ人が増えるといいなと思います。

刀剣展で、新しい知識を頭に補給しましたが、おなかには空いてきたので、みんなで近くの焼肉店に行つて、おなかにお肉を補給しま

した。

2号線沿いのお店で、何度か前を通過したことのあるお店でした。

昼時もあります。このあたりでは人気店らしくお客さんも多かったです。

味もおいしかったです。

今度、国宝「太刀 無銘 一文字（山鳥毛）」が展示されている時期に訪れて見たいなと思いました。

田中栄子



前列左端が相沢さんです

中国東北部を訪ね、

日中友好を促進する旅

感想… 相沢眞佐子

こんにちは

9月だと言うのに、厳しい暑さの日々が続いています。旅行中の涼しさが恋しいです。

今回の旅行も、学びの多い旅となりました。ありがとうございました。

戦後80年、柳樹河開拓団の亡くなった方達への初めての慰霊。亡くなった子どもの多さに、切なくて、込み上げるものがありました。何処の開拓団も同じ様だったのでしょうか。そして母親の悲しみが、痛いほど感じられました。（ついつい自分だったら…と重ねてしまいます。）

開拓団の方達は、自分達から希望して入植していった。と理解していましたが、国や県からの圧力により、ノルマがあり、強制的に入植をさせられた人達も居たことを今知りました。

にも関わらず、戦後の補償など一切無かったのですよね!? つくづく、国って何なのだろうか…と考えさせられます。

前回(2019年)の時、小林軍司先生が「岸信介が進めた満州への移住なのに、自分達だけ先に日本に帰って、開拓団の人達は棄民となった。責任を取ることも無かった。だから、わたしは安倍が許せない。」と仰っていたのを思い出しました。

ジャムスの街に残る当時の建物が、色々と残っていて、病院等に使われているのにも、感動しました。

日本が建てた建物は、使い便利も良く丈夫だったのですね。

また柳樹河開拓団跡地に、当時の住居

が残っているのにも驚きました。人民政府から残すように。と言われているのか、純粋に歴史的建造物として保存されるのか?と思ってしまう。が、歴史的建造物として保存されると嬉しいです。

6年も経つと、街の雰囲気も変わり、どんどん変わって行っているのを感じました。

監視カメラの多さと、スマホ決済が主流なのにも驚きました。日本よりも進んでいる感じがしました。

ハル濱で食べた、アイスクリームとパンは、とても美味しかったです。（ここでも当時の建物が色々なものに使われています。）今回も出会った中国の方達はTVやネットで言われているのとは全く違って、良い人達ばかりでした。個人的に付き合うと良い方達なのに、国どうしになると、何故なのか?と思うばかりです。

平和学習に、原爆とか、空襲があった。と言うことだけでなく、開拓団の事や加害と、被害の両方をきちんと伝えていくことが大切だと思います。中国のTVでは、戦時中のドラマをたくさんチャンネルでしていました。反日教育ですかね?どちらの国も、被害と、加害の本当の事を伝えたいものです。

今回は、文化の違いをとっても感じました。前回、宮本南海子さんが「町が綺麗になりました。昔はもつとごみがたくさんありました。」と。幼い頃から染み付いたものはなかなか変えることはできません。

日本の町が綺麗なのも(現在は少し変わってきていますが)、中国の方がごみをその場に捨てちゃうのも、羨も文化だとしたら、そこにありますよね。食べ残しを持って帰ってらっしゃったのも、中国にとっては大きな変化だと感じました。(買い物袋に入れて持って帰ってらっしゃるのには、少し驚きましたが…)教育や、国の方針等も本当に大切だと感じました。

先生が、続けられる限りお供して、色々学びたいと思います。この暑さは、まだまだ続く様です。どうぞご自愛ください。感想が、大変遅くなって申し訳ありませんでした。 相沢眞佐子

次回の新聞発送作業は
12月9日(火)午前10時半
から

民主会館1階で行います。
前回お手伝いくださった方です。

井飼田
河犬真